

## 特定非営利活動法人日野子育てパートナーの会 設立趣旨書

子育ての現状は、毎日のように報じられる虐待のニュースからも大変きびしくなっていることがわかります。核家族化が進み、その上父親も子育てにかかわるゆとりがなく、地域の助け合いもなくなっている今、子育ての責任は、母親が一身に背負わされています。また、不況やリストラなど経済的にも不安な中、少子化に歯止めがかからないことも深刻な問題です。

子育ては、母親ひとりでしていればいいのでしょうか？ 「ちょっと見ていて」と気軽に頼める人もいない。24時間子どもにつきっきり、トイレすら落ち着いて入れない、食べてくれない、眠ってくれない、断乳は、離乳食は、排尿のしつけは……。いっぱい聞きたいことがあるのに、気軽に聞ける人がだれもいない。そんな、ひとりぼっちの子育てから、虐待も生まれているのではないかと考えられます。

この1年余、わたしたちは、子育て中の親と子にとって、地域に「居場所」が必要と考え、親も子もそして、地域も共に育ちあう、人と人が支えあう街づくりを目標に、子育てひろば「みんなのはらっぱ」を運営してきました。

しかし今年度から、国の「子育てパートナー制度」がなくなり、自治体の補助金もつかなくなるのではないかと、活動場所の確保もむずかしくなるのではないかと、活動を続けていけるのかどうか？ などの不安をかかえています。また、ボランティア一人一人の都合に合わせた活動のコーディネートや、乳幼児を対象とした活動から派生する危険に伴う責任の重さなど、中心的に会の運営を担う人たちの負担が、ボランティアの域を超えてきていて、任意団体のままで、子育てひろばの活動を継続していくことが難しくなっているのが現状です。

会を法人化することによって、ボランティア個人の負担を軽減させ、すでに300家族もの子育て中の市民が利用している「みんなのはらっぱ」を定着・発展させたいと思います。

子育てをしている家庭の親子をはじめ広く一般市民を対象に、①子育てひろば（つどいと交流の場）の設置・運営事業 ②子育てに関する相談事業 ③子育てサークル等育成・支援事業 ④子育てに関する講演会・講習会の開催事業 ⑤子育て支援に関する人材育成事業 ⑥同じ目的を持つ他団体とのネットワーク構築事業 ⑦パンフレットなどによる子育てに関する普及・啓発事業などを通じて、ひとりぼっちの子育てをなくし、人と人が共に育ちあい、支えあい、助け合って、安心して子育てが出来る社会の実現に貢献するために、今回、ここに「特定非営利活動法人日野子育てパートナーの会」を設立します。

平成16年 9月 28日

